

福岡県立福岡つくし特別支援学校グランドデザイン

●目指す像

○児童生徒像

- ・まじめで優しく人に接する児童生徒 (誠実)
- ・責任をもってやり遂げる児童生徒 (自律)
- ・相手を尊重し、譲り合える児童生徒 (協調)

○教職員像

- ・地域、保護者と積極的に連携し、共通認識をもって児童生徒を育成する教職員
- ・全ての児童生徒の自立と社会参加に向け、深い愛情と使命感をもち、常に学び続ける教職員

●スクール・ミッション

個々の能力を最大限に引き出し、地域資源の活用や関係機関との連携・協働による体験活動等を通して、社会において主体的にたくましく活躍できる児童生徒を育成する学校

●重点目標と具体的方策

I 障がいの状態や発達段階に応じた専門的な指導の充実

- 地域資源を活用した体験活動の充実と学びの連続性を重視した教育課程を編成する。
- カリキュラム・マネジメントを確立させ、教科横断的な視点と系統性を踏まえた年間指導計画を作成する。
- ICT機器の活用等、積極的に授業改善を図るとともに個別の教育支援計画等に反映させる。
- 卒業後に必要な力の育成を目指して、進路開拓・進路指導・職業教育の充実に努める。

II 安心・安全に学ぶための教育環境の整備・充実

- 児童生徒の自己肯定感を育むため、道徳教育、人権教育の充実を図る。
- 各種ガイドラインに沿った健康・安全に関する対応マニュアルを作成し、対策の周知と徹底に取り組む。
- いじめ等対策委員会を中心としたいじめの未然防止の取組と体制整備の充実を図る。
- 事務室と連携した環境の整備と効果的な予算の運用を図る。

III ユニット制を基盤とした組織マネジメントの活性化

- 学校経営会議、運営委員会、チーフ・ミーティング等、各会議の連動と情報共有による組織運営の一本化を図る。
- 学部間・ユニット間の連携強化を図るとともに教師の専門性や特性・能力を生かした T・T の充実を図る。
- 発達段階に応じた児童生徒の支援に関するユニット内の共通理解を図る。
- ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境を整備し、「働き方改革」を推進する。

IV 早良高等学校や地域の小中学校等との連携を生かした地域における特別支援教育の充実

- 児童生徒の経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育成するため、交流及び共同学習やワンヘルス教育を積極的に推進する。
- 早良高校との交流を推進し、授業だけでなく、昼食や清掃、課外活動といった日常的な相互交流の時間を設定する。
- 地域における特別支援教育の充実を目指し、センター的機能を発揮させ、セミナー開催や地域ボランティアの人材活用等を積極的に実施する。

V 教職員の専門性の向上及び理解啓発活動に基づく共生社会の実現

- ユニット制を有効に活用し日々の教育活動の実践や研修・会議等の場において協働する。
- 地域の人材等(ST、PT、OT、大学教授等)を活用し、専門性の向上に取り組む。
- 若年教員及びミドルリーダーを育成するため、OJTによる人材育成を推進する。
- 人権感覚の醸成を目指した研修を進める。
- 共生社会の実現に向けて、特別支援教育についての情報発信と理解啓発を行う。

本校の力点

「ワンヘルス教育を中心とした体験活動の充実」「交流及び共同学習の充実」「キャリア教育の推進」「ICT活用の推進」

関係者・関係機関(保護者・放課後等デイサービス・支援センター等)地域との連携